

中高生の生活実態に関するアンケート調査【生徒用】（案） ご協力をお願い

札幌市では「子どもの権利条例」をつくり、子どもの権利を大切にしながら、子どもたち一人一人が安心して暮らし、健やかに成長していくまちを目指しています。

このアンケート調査は、札幌市立の中学校、高校、中等教育学校に通う生徒を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなど（特に家族の方のお世話に関すること）をお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

調査結果は、これからの札幌をより一層「子どもにやさしいまち」にしていくために役立てていきたいと考えていますので、お手数ですが、回答のご協力をお願いします。

◆調査方法

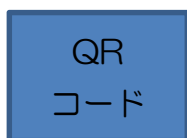
次の URL にアクセスし、アンケートフォームに直接回答を入力してください。

令和●年●月●日（●）までに入力をお願いします。

なお、同じ人が2回以上回答しないよう、十分注意してください。

○回答用 URL : <https://●●●●>

○QR コード :



◆この調査に関するお知らせ

- ・調査は無記名で行います。回答は自由です。回答しなくてもあなたに不利益は全くありません。
- ・答えにくい質問は、答えなくても構いません。無理のない範囲でご協力をお願いします。
- ・集計データを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ・あなたの回答内容を先生が見ることもありません。
- ・集計結果は、札幌市のホームページなどで公表します。調査結果は今後のヤングケアラー支援の取組に生かしてまいります。

<お問い合わせ先>

札幌市子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課（担当： ）

電話：011-211-2942 ファクス：011-211-2943

<発送者・調査業務受注者>

●●●●（担当：）電話： ファクス：

「子どもの権利」とは？



●「子どもの権利」って？

すべての子どもが自分らしく豊かに成長していくために、生まれながらにもっている基本的な権利(基本的人権)です。

子どもは可能性に満ちたかけがえのない存在であるとともに、大人へと成長していく中で、適切な配慮や支援を必要としています。

子どもを、一人の人間(権利の主体)として尊重するとともに、大切に守り、育む(保護する)というバランスが大切です。



4つの権利

(条例では、子どもの権利を大きく4つに分けて説明しています。)

●安心して生きる権利

- ・愛情をもって育まれること
- ・いじめや虐待から守られること



●豊かに育つ権利

- ・学び、遊び、休むこと
- ・夢に向かってチャレンジすること



●自分らしく生きる権利

- ・それぞれの性格や考え方など、その人らしさが大切にされること



●参加する権利

- ・自分に関わることに意見を言うこと
- ・伝えた意見が大切にされること




※お互いの権利を尊重することが大切です。

子どもの権利は、子どもが思うままに何をしてもよいと認めるものではありません。一人一人がお互いの権利を大切にす、権利がぶつかり合ったときは、お互いの気持ちや考えを尊重しながら「調整」する、そうした経験を通じた子どもの成長が大切です。

困ったときは？

あなたは、自分らしく安心して暮らすことができるよう、たくさんの人に守られています。もし困ったことやつらいことがあったら、いつでも学校の先生や家族、周りの人に相談しましょう。周りに相談相手がない場合や、周りの人には話にくい相談をしたい場合は、以下の相談機関をご利用ください。

名称	概要	相談の受付
子どもアシストセンター (札幌市子どもの権利救済機関)	学校のこと、家庭のこと、友達や自分のことなどで、様々な悩みの相談を受け付けています。 <例えば…> ・誰かにきいてほしい ・友達とケンカした ・家の人が分かってくれない	月～金 午前10時～午後8時 土 午前10時～午後4時 (日曜日・祝日・年末年始はお休み) ●電話(子ども専用通話料無料) 0120-66-3783 ※大人の方は(011-211-3783) ●メール assist@city.sapporo.jp ●LINE(子ども専用) 
子ども安心ホットライン (札幌市児童相談所)	家庭のことなどで困っていることや、困っている友達のことなどについて、夜間も相談できる電話相談です。 <例えば…> ・お父さんやお母さんとの関係で困っている ・家族と一緒にいることがつらい	●電話(24時間対応) 011-622-0010
24時間子供SOSダイヤル (教育委員会)	いじめや不登校、その他様々な悩みについて相談にのってくれたり、援助したりしてくれる相談窓口です。	●電話(24時間対応) 0120-0-78310

A. 基本情報

問1 あなたが通っている学校を教えてください。(答えにくい場合は、答えなくても構いません)

() 区 () 学校

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

1. 中学1年生	4. 高校1年生	7. 高校4年生
2. 中学2年生	5. 高校2年生	
3. 中学3年生	6. 高校3年生	

問3 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

1. 男性	3. どちらともいえない
2. 女性	4. 答えたくない

問4 あなたの家族について教えてください。

① 現在、一緒に住んでいる家族(単身赴任している父母等を除く)は、あなたを含めて何人ですか。

() 人

② 現在、あなたと一緒に住んでいる家族(単身赴任している父母等を除く)について教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 母親	4. 祖父	7. 弟 () 人
2. 父親	5. 兄 () 人	8. 妹 () 人
3. 祖母	6. 姉 () 人	9. その他 ()

③ 現在、あなたの家族に単身赴任している父母等はいますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. いる	2. いない
-------	--------

B. 家庭や家族のこと

※以下、今年の4月以降の状況についてお答えください。

問5 家族の中に高齢や病気、身体が不自由、^{おきな}幼いなどの理由により、お世話が必要な方はいますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. いる ⇒ 問6へ
2. いない ⇒ 問17へ

※お世話とは、以下のようなことです

- 家事(食事の準備や掃除、洗濯)
- きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)
- 外出の付き添い(買い物、散歩など)
- 病院への付き添い

遊び相手になるなど)	トや労働をするなど)
7. 見守り	13. その他 ()

④ お世話を必要としている方は、病院に通院したり訪問医療などを利用していますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

⑤ ④で「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、病院の医師や看護師など、医療関係者の方々と、この方のことでお話ししたことがありますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

⑥ お世話を必要としている方は、福祉サービス(ホームヘルパー、デイサービス等)などを利用していますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

⑦ ⑥で「1. はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、ホームヘルパーやケアマネジャーなどの福祉サービス職員の方々と、この方のことでお話ししたことがありますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問8 あなたがしているお世話の状況について教えてください。

※お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなくまとめてお答えください。

① あなたがお世話を始めたのは、あなたが何歳の時からですか。(お世話を必要としている方が複数いる場合は、あなたが最初にお世話を始めた年齢を教えてください。また、はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)

() 歳頃から

② あなたがお世話をしている日数を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

1. ほぼ毎日	3. 週に1~2日	5. その他 ()
2. 週に3~5日	4. 1か月に数日	

③ あなたは、平日(月~金など学校がある日)にお世話をどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。

1. 1日 () 時間程度	2. わからない	3. 日によってずいぶんちがう
----------------	----------	-----------------

④ あなたは、休日にお世話をどれくらいしていますか。だいたいの時間数をお答えください。

※休日とは、③の平日以外で学校がお休みの日です。

1. 1日 () 時間程度 2. わからない 3. 日によってずいぶんちがう

問9 あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。() 内のあてはまるものを選択)

1. 学校に行けないことがある (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
2. 学校を遅刻・早退してしまう (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
3. 勉強する時間が取れない (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
4. 睡眠が十分に取れない (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
5. 友人と遊べないことがある (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
6. 部活や習い事が思うようにできない (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
7. 自分の自由になる時間が取れない (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
8. 自分が自由に過ごせる場所がない (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
9. 学校のことをどうでもいいと思うことがある (よくある ・ たまにある ・ ほぼない)
10. その他 ()

問10 お世話をしていることが影響して、あなたの今後の進路について考えていることをお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 進学をあきらめ、就職を考えている
2. 進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている
3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている
4. 就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている
5. 進学先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている
6. 就職先は、自宅外から通えるところを選択しようと考えている
7. 進学先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている
8. 就職先は、お世話の経験から、医療や福祉関係を選択しようと考えている
9. 特に進路に影響は受けていない
10. その他 ()

問11 あなたは、お世話をすることについて、次のようなことを感じていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

1. やりがいを感じている 4. 身体的につらい 7. 特に感じていない
2. 楽しい 5. 精神的につらい 8. その他 ()
3. 充実している 6. 時間的余裕がない

問12 あなたは、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

1. ある ⇒ 問13へ
2. ない ⇒ 問14へ

問13 問12で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい) 8. 相談窓口(SNS、メール)
2. しんせきの人(おじ、おばなど) 9. 医師や看護師、その他病院の人
3. 友人 10. ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 5. イベントや交流会など |
| 2. 雑誌や本 | 6. 学校 |
| 3. SNSやインターネット | 7. 友人・知人から聞いた |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 8. その他 () |

自由記載欄

(ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、あなたが家族のお世話をしていることで困っていること、要望等なんでも)



調査は以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。